

ICT教育環境の整備について

1. ICT教育環境整備

1人1台の児童生徒用タブレットや指導者用タブレットを整備するとともに、大型モニター等のICT機器の整備、「いずもオロチネット」のネットワーク増強を行うなど、学校のICT教育環境の充実を図り、GIGAスクール構想の早期実現をめざす。

また、モバイルWi-Fiルーターやカメラ・マイクを整備し、オンライン学習の研究・調査を行い、実施をめざす。

2. 授業におけるICT活用推進

「準備・整備期(令和2年度)」、「導入期(令和3年度1学期)」、「活用期(令和3年度2・3学期)」、「発展期(令和4年度～)」のそれぞれの活用段階において、教職員研修やICT活用教育調査研究委員会による調査研究を重ね、児童生徒の学習活動の一層の充実を図る。

3. 経費について

(1) 令和2年度機器環境整備等に係る経費(予算額)

- ① 児童生徒用タブレット及び指導者用タブレット
707,619千円
- ② 電源キャビネット
110,275千円
- ③ 大型モニター
120,301千円
- ④ モバイルWi-Fiルーター、カメラとマイクの整備
6,100千円
- ⑤ サーバー増設によるネットワーク増強等(リース)
97,305千円

①～⑤合計 1,041,600千円

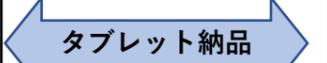
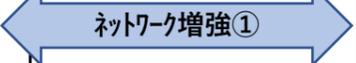
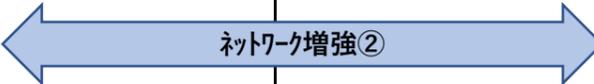
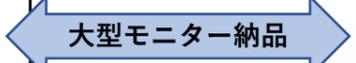
(2) 令和3年度以降、維持管理に係る概算経費(令和2年度タブレット導入分)

- ① タブレットスポット修理費
年間40,000千円程度
- ② サーバー増設によるネットワーク増強等(リース)
876,700千円(令和3年度～令和8年度分)

(3) 現在検討中のもの

- ① ICTを活用した授業準備や授業中のサポートを担うICT支援員等の配置
- ② 指導者用デジタル教科書やデジタル教材を使ったモデル事業

出雲市ICT教育推進事業（案）

年 度	令和2年度 (2020)			令和3年度 (2021)			令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)
	1学期	2学期	3学期	1学期	2学期	3学期			
1. ICT教育環境整備									
(1)児童生徒1人1台タブレット整備 (小学校; 9,689台) (中学校; 4,721台)			  						
(2)指導者用タブレット整備 (小・中学校; 969台)									
(3)ネットワーク増強									
(4)電源キャビネット整備 (500台)									
(5)大型モニター整備 (小・中学校の通常学級; 530台)									
(6)モバイルWi-Fiルーター整備 (家庭への貸与分; 570台)									
(7)カメラ・マイク整備 (11校分)									
2. 授業等におけるICT活用推進									
(1)活用段階		■準備・整備期 タブレット等のICT機器の整備を進める		■導入期 指導者用タブレット等を活用した指導力を身に付ける		■活用期 児童生徒の学習を促進するための指導力を高める		■発展期 児童生徒の思考力や表現力等を高める指導力を充実させる	
(2)教員のICT活用指導等				<ul style="list-style-type: none"> ●指導者用タブレットや大型モニターの活用 ●児童生徒用タブレット本体機能の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ●指導者用タブレットや大型モニターの活用充実 ●ネットワーク等を活用した児童生徒用タブレットの本格的活用 			<ul style="list-style-type: none"> ●ICT機器の活用推進 	
(3)教職員研修等			<ul style="list-style-type: none"> ・ICT活用推進担当者研修 ・操作研修① (各校巡回) ・操作研修② (各校巡回) 	<ul style="list-style-type: none"> ・活用期に向けた各種研修 	<ul style="list-style-type: none"> ・校内研修 (研究授業等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体研修 (公開授業等) 			
(4)ICT活用教育調査研究委員会 (小学校5名・中学校5名)		<ul style="list-style-type: none"> ・学習支援ソフト等についての調査・研究 ・ICT活用授業の視察 (研究授業等の視察) ・市ICT活用教育推進計画 (案) の検討 		<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教科書 (教材) の調査・研究 ・導入期及び活用期における効果検証 (各校の現状と課題) ・次年度事業計画の検討 ※オンライン学習の調査研究を含む 					

3. 現在検討中のもの

- ICT支援員等の配置
- 指導者用デジタル教科書やデジタル教材を使ったモデル事業

G I G Aスクール構想

- ✓ 1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、特別な支援を必要とする子供を含め、多様な子供たちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育ICT環境を実現する
- ✓ これまでの我が国の教育実践と最先端のICTのベストミックスを図ることにより、教師・児童生徒の力を最大限に引き出す



	「1人1台端末」ではない環境		「1人1台端末」の環境
一斉学習	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教師が大型提示装置等を用いて説明し、子供たちの興味関心意欲を高めることはできる 	学びの深化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教師は授業中でも一人一人の反応を把握できる → 子供たち一人一人の反応を踏まえた、双方向型の一斉授業が可能に 
個別学習	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全員が同時に同じ内容を学習する（一人一人の理解度等に応じた学びは困難） 	学びの転換	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各人が同時に別々の内容を学習 ・ 個々人の学習履歴を記録 → 一人一人の教育的ニーズや、学習状況に応じた個別学習が可能 
協働学習	<ul style="list-style-type: none"> ・ 意見を発表する子供が限られる 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 一人一人の考えをお互いにリアルタイムで共有 ・ 子供同士で双方向の意見交換が可能に → 各自の考えを即時に共有し、多様な意見にも即時に触れられる 

ICTの活用により充実する学習の例

- ☑ **調べ学習** 課題や目的に応じて、インターネット等を用い、様々な情報を主体的に収集・整理・分析
- ☑ **表現・制作** 推敲しながらの長文の作成や、写真・音声・動画等を用いた多様な資料・作品の制作
- ☑ **遠隔教育** 大学・海外・専門家との連携、過疎地・離島の子供たちが多様な考えに触れる機会、入院中の子供と教室をつないだ学び
- ☑ **情報モラル教育** 実際に情報・情報技術を活用する場面（収集・発信など）が増えることにより、情報モラルを意識する機会の増加